



令和5年8月10日

大牟田市教育委員会 殿

大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会

委員長 林 康



大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画における  
進捗整理及び今後の学校再編整備について（答申）

令和5年6月27日付教総第179号により諮問を受けたことについて、下記のとおり  
答申します。

記

大牟田市では、児童・生徒の学校教育環境の整備を図るため、小規模化した学校の再編整備を推進されており、現在は令和元年11月に策定された「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画（令和3～9年度）」（以下「第2期実施計画」という。）に基づき、中学校5校の再編を実施するため準備に取り組まれています。

大牟田市教育委員会は、令和5年6月27日、大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（以下「委員会」という。）に対し、今後、第2期実施計画を実施するに当たり、進捗整理をするとともに、今後の学校再編整備の考え方について、諮問を行いました。

当委員会では、これまで3回の委員会を開催し、1. 中友小学校と明治小学校の再編、2. 白川小学校と平原小学校の再編、3. 義務教育学校、4. 夜間中学について、様々な観点から慎重に審議を行ってまいりました。

その結果、以下のとおり審議のまとめとしました。

1 中友小学校と明治小学校の再編

第2期実施計画において、松原中学校を継続して活用することに変更となり、松原中学校の通学区域は、大正小学校と中友小学校の通学区域全域であることから、中友小学校と明治小学校の再編については、計画を見直すことが妥当であると判断しました。

2 白川小学校と平原小学校の再編

白川小学校と平原小学校の再編については、平原小学校の児童数が増えたことから、学級数が一定規模で維持されるため、先行して再編することなく、第2期実施計画のとおり令和7年度に検討委員会を設置し、検討するということが整理ができると判断しました。

### 3. 義務教育学校

大牟田市では、第2期実施計画において小中一貫教育の推進を掲げ、これまでも取り組んでいるところです。令和4年4月「大牟田市小中一貫教育基本方針」を策定し、宮原中学校区においては小中一貫教育を本格実施しており、その点検・評価によれば中一ギャップの解消や不登校の減少等の成果が出ています。

この成果を全市的に進めるためには、小中一貫教育を推進する中心的な役割を担う義務教育学校が必要であると考えます。

また、松原中学校区においては、平成23年度に文部科学省から「魅力ある学校づくり」の研究指定を受ける等、小学校・中学校が連携して取り組む授業や行事が継続されており、令和5年度からは、小中一貫教育を本格的に試行しているところです。

このようなことから、松原中学校区におけるこれまでの小中一貫教育の取組み、松原中学校と大正小学校の立地条件及び校舎等の老朽化、地域からの義務教育学校設置の要望、並びに本市のまちづくりの視点からも、松原中学校区への「義務教育学校」の設置について、早急に検討が必要であると判断しました。

### 4. 夜間中学

夜間中学については、第2期実施計画において、多様な学習機会の提供を推進するために設置するとされています。設置に当たっては、市の中心部に位置し、駅にも近く交通の便がよい松原中学校に設置することを検討するとされています。

多くの人に等しく教育を受ける機会を保障する役割を担う夜間中学については、アンケート調査等からも設置する時期にきているのではないかと考えます。

なお、設置場所については、第2期実施計画のとおり松原中学校に設置する方向で進めることが妥当であると考えます。

また、「誰一人取り残さない」学びの保障の観点から、昼間の中学校で不登校となっている学齢生徒を夜間中学に受け入れる不登校特例校についても、併せて検討が必要であると判断しました。

さらに、他市町からの広域的な生徒の受け入れを行う場合は、福岡県教育委員会による協議会を設置し、他市町との調整が図られるよう要望します。

大牟田市教育委員会におかれましては、本答申で提言した方向性に沿って、「誰一人取り残さない」未来を見据えた豊かな学びの実現に向けて、迅速に取組が進められることを期待します。